

散布しようとする作物以外に農薬がドリフトしなように細心の注意を！

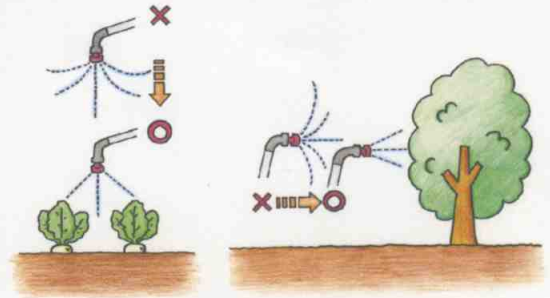
風のない日(時間)に散布しましょう。

農薬ドリフトの最大要因は、自然の風です。風のない日や時間に散布しましょう。また、散布中は風の状況を把握して常に注意することが必要です。



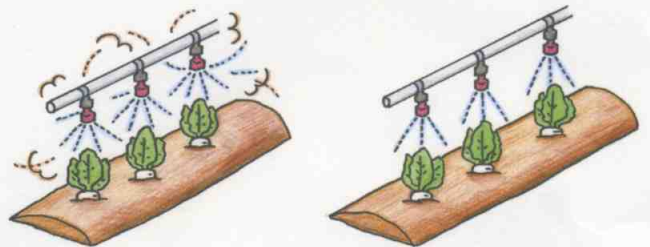
散布の位置や方向に注意しましょう。

対象とする作物だけにかかるよう、できるだけ作物の近くから散布しましょう。また、圃場の外側から内側に向かって散布しましょう。高さのある作物の場合は、枝葉のない方へ散布しないようにしましょう。



適正な量を散布しましょう。

散布量が多くなるほどドリフトの割合も大きくなります。葉面が濡れたらそれ以上散布しないなど、無駄な散布をいないようにしましょう。



適正なノズルを使い、適正な圧力で散布しましょう。

一般的なノズルは粒子径が小さい(0.1mm以下)ため浮遊しドリフトしやすくなっています。ドリフトの少ないノズルに変える事も効果的です。また、圧力が高すぎると粒子が細くなりドリフトしやすくなりますので適正圧力を守りましょう。



圃地の端部では特に注意しましょう。

圃地の端部でドリフトが生じると被害の危険度が大きくなります。そのため、圃地の端部では特に注意しましょう。

使用した散布器具をしっかりと洗浄しましょう。

前回使用した農薬が散布器具に残っていると、それが次の散布時に噴霧されてしまい、残留につながることもあります。タンクや配管に農薬が残らないようにしっかりと洗浄しましょう。

